

笑 [ほほえみ] 顔



北海道ホームヘルプサービス協議会 情報誌

平成30年4月の報酬改定、制度改正に向けた提言書を提出

平成28年10月6日(木)～7日(金)、厚生労働省老健局において、平成30年4月の報酬改定、制度改正に向けた提言書を、浦原基道厚生労働省老健局長に提出いたしました。

また、衆議院本館、議員会館において、小川勝也参議院議員をはじめ、本会地区役員からも北海道選出国會議員等に対しても提言書を提出いたしました。



厚生労働省浦原基道老健局長（左手前）
小川勝也参議院議員（左手奥）
（右奥から）七戸会長・山崎制度推進委員長、佐々木副会長



提言書提出時の様子

平成30年4月の報酬改定、制度改正に向けた提言内容

1. 地域包括ケアシステムにおける訪問介護の役割
 2. 人材不足に関して真剣に話し合う場を設けてほしい
 3. 処遇改善加算の問題点に目を向けてほしい
 4. 介護報酬本体の引き上げを強く要望する
 5. 生活援助サービスを介護保険から削ることに反対する
 6. 喀痰吸引の実技の研修の場を提供してほしい
 7. 事務の簡素化を要望したい
- ※提言書の詳細については、本会ホームページ (<http://do-homehelp.jp/>) をご覧ください。

目次

- ◆平成28年度北海道ホームヘルプサービス協議会
研修事業報告 2
 - ・全道ホームヘルプサービス研究大会
 - ・スキルアップ研修
 - ・上級者ステップアップ研修
 - ・ホームヘルプサービス事業経営セミナー
 - ・地区別資質向上研修
- ◆平成29年度事業計画(案) 6
- ◆道ヘルプ協の紹介 8
 - ・ホームページの紹介
 - ・入会のご案内

平成28年度

北海道ホームヘルプ協議会 研修事業報告

全道ホームヘルプサービス研究大会

平成28年7月12日(火)～13日(水)の2日間、北海道自治労会館(札幌市)において開催し、166名の方々に参加いただきました。

本研究大会では、医療職との連携のもと、在宅介護の現場でより良いサービスが展開できるよう、ターミナル期におけるケアの視点や心構えについて理解を深め、薬や口腔ケアについて考えるとともに、ホームヘルプサービスに必要な技術と知識の向上を図ることができました。

1日目の七戸キヨ子会長の開会挨拶の中では、平成28年4月に発生した熊本地震における被災地ボランティア活動の報告がありました。

地震の発生を受け、全国ホームヘルパー協議会では、都道府県組織の協力を得ながら、御船町の福祉避難所への支援を実施しました。2人1組で2泊3日ずつの交代を基本として、全国から延べ31人が派遣され、そのうち北海道からも七戸キヨ子会長と他1名が派遣され、被災地での支援を実施いたしました。福祉避難

所では、ホームヘルパーによって、主に食事準備、清掃、レクリエーションの実施、見守り等の支援が行われ、状況に応じて周辺の一般避難所での支援も行いました。

その後、北海道ホームヘルプサービス協議会制度推進委員会の山崎加代子委員長より、平成27年に実施した「平成27年度4月の介護報酬改定及び介護保険改正における事業所への影響」についての調査結果とそこから見た北海道における訪問介護事業所の経営状況や課題について、報告がありました。

また、講演Ⅰでは社会福祉法人札幌東勤労者医療福祉協会の室田ちひろサービス副部長より、「ターミナルケアの視点と心構え」についてお話をいただきました。

講演Ⅱでは、NPO法人日本コンチネンクス協会北海道支部の大科宣子アドバイザーより利用者のQOL向上につながる排泄ケアと排泄障害やアセスメント方法の視点等についてご指導いただきました。



山崎 加代子氏

室田 ちひろ氏

大科 宣子氏

1日目
7/12
(火)

報告「北海道における在宅介護の現状～平成27年度ホームヘルプサービス実態調査から見たもの」

報告者：山崎 加代子氏 (北海道ホームヘルプサービス協議会 制度推進委員会委員長/株式会社シムス 専務取締役)

講演Ⅰ「ターミナルケアの視点と心構えについて」

講師：室田 ちひろ氏 (社会福祉法人札幌東勤労者医療福祉協会 サービス副部長・緩和ケア認定看護師)

講演Ⅱ「排泄ケアと排泄障害について」

講師：大科 宣子氏 (NPO法人日本コンチネンクス協会北海道支部 コンチネンクスアドバイザー)

2日目は3つの分科会にわかれて、各テーマの課題について、各講師より講演を行った後、演習を実施しました。



千葉 恒氏



工藤 由加里氏



河野 裕樹氏

2日目
7/13
(水)

第1分科会「医療と介護の連携～リハビリ・ICFの視点から」

講師：千葉 恒氏 (富良野協会病院 リハビリテーション科 主任・理学療法士)

第2分科会「ヘルパーのための口腔ケアとアセスメント」

講師：工藤 由加里氏 (北32条歯科クリニック 歯科衛生士)

第3分科会「ヘルパーに求められる薬の取り扱いと医学的知識について」

講師：河野 裕樹氏 (はるにれ薬局 栄通店 薬局長)

スキルアップ研修

9月から11月にわたり、道内3カ所（札幌、旭川、帯広）において全5回、実務経験5年未満のホームヘルパーを対象として、サービス提供において必要とされる知識や技術の研鑽を図りホームヘルパーとしての資質向上を図ることを目的に開催し、延べ155名の方々に参加いただきました。

本研修では、北海道ホームヘルプサービス協議会の役員が中心となって講師を務め、ホームヘルパーの現場経験の目線から、講義・演習を行いました。

講義1では、認知症のケアについて再確認するとともに、実際の事例をとおして認知症のある方が在宅生活を送る上での対応の仕方やコミュニケーションについて学びました。

その後、講義2・実技では、実践現場からのオムツのあて方や尿漏れ対策などを行うとともに、車いすから介護ベッドへの移乗やボディメカニクスを活用した方法等、根拠を持った介護技術を、実技をとおして学びました。



七戸 キヨ子 会長



札幌会場（第1回〔10/23〕・第2回〔10/29〕）

■講義1 「認知症のケアについて考える～ “認知症の人”の模擬役とのロールプレイを通しコンタクト技法を磨こう！」

講師：七戸 キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会 会長）
佐々木 薫（北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長）
澤口 美幸（北海道ホームヘルプサービス協議会 幹事）

■講義2・実技「根拠を持った介護技術を学ぼう」

講師：七戸 キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会 会長）
佐々木 薫（北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長）
澤口 美幸（北海道ホームヘルプサービス協議会 幹事）



旭川会場（第1回〔9/24〕・第2回〔9/25〕）

■講義1 「認知症のケアについて考える～ “認知症の人”の模擬役とのロールプレイを通しコンタクト技法を磨こう！」

講師：七戸 キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会 会長）
佐々木 薫（北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長）
澤口 美幸（北海道ホームヘルプサービス協議会 幹事）

■講義2・実技「根拠を持った介護技術を学ぼう」

講師：七戸 キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会 会長）
佐々木 薫（北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長）
澤口 美幸（北海道ホームヘルプサービス協議会 幹事）



帯広会場〔11/12〕

■講義1 「認知症のケアについて考える～ “認知症の人”の模擬役とのロールプレイを通しコンタクト技法を磨こう！」

講師：七戸 キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会 会長）
佐々木 薫（北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長）
澤口 美幸（北海道ホームヘルプサービス協議会 幹事）

■講義2・実技「根拠を持った介護技術を学ぼう」

講師：七戸 キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会 会長）
佐々木 薫（北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長）
澤口 美幸（北海道ホームヘルプサービス協議会 幹事）



上級者ステップアップ研修

平成28年12月12日(月)、北海道自治労会館(札幌市)において、実務経験5年以上のホームヘルパーを対象に開催し、130名の方々にご参加いただきました。

シンポジウムでは、平成28年8月末に発生した台風の影響により北海道各地に甚大な被害をもたらした経過から、訪問介護事業所における利用者への対応や各関係機関との連携のあり方など、実際に被害に遭われた事例をとおして発言いただき、災害時におけるホームヘルパーの役割や事業所の対応のあり方について議論しました。



■シンポジウム「災害時におけるホームヘルパーや訪問介護事業所の対応を考える」

進行：七戸 キヨ子(北海道ホームヘルプサービス協議会 会長)
実践報告者：佐々木 薫(北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長)【十勝地区】
山之内 貴子(北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長)【日高地区】

■講義・演習「訪問介護計画の立案の仕方〜リハビリ・ICFの視点から」

講師：七戸 キヨ子(北海道ホームヘルプサービス協議会 会長)

また講義・演習では、訪問介護計画作成におけるアセスメントからモニタリングまでの必要な知識について、ICFの視点を通じた作成のポイントや注意すべき点などについて、実践事例をとおして学びました。



七戸 キヨ子 会長

ホームヘルプサービス事業経営セミナー

平成29年3月18日(土)、北海道自治労会館(札幌市)において事業所経営者、管理者を対象として開催しました。本セミナーには125名の方々に参加いただきました。

講義1では、北海道ホームヘルプサービス協議会制度推進委員会の山崎加代子委員長より、平成27年に実施した「平成27年度4月の介護報酬改定及び介護保険改正における事業所への影響」についての調査結果とそこから見えた北海道における訪問介護事業所の経営状況や課題について、報告がありました。

講義2では、厚生労働省老健局振興課の谷内一夫課長補佐より、平成30年の介護保険制度改定に向けての国の動向を踏まえ、訪問介護事業所に求められる役割や体制など、今後の訪問介護事業所のあり方について学びました。

講義3では、厚生労働省社会・援護局障害福祉課の照井直樹課長補佐より、「障がい関連制度の動向と今後の展望」について、お話しいただきました。



山崎 加代子氏



谷内 一夫氏



照井 直樹氏

■講義1「北海道における在宅介護の現状と今後の訪問介護事業所のあり方について 〜平成27年度ホームヘルプサービス実態調査から見たもの〜」

講師：山崎 加代子氏(北海道ホームヘルプサービス協議会 制度推進委員会委員長/株式会社シムス 専務取締役)

■講義2「介護保険制度における平成30年度の展望について」

講師：谷内 一夫氏(厚生労働省老健局振興課 課長補佐)

■講義3「障がい関連制度の動向と今後の展望について」

講師：照井 直樹氏(厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐)



地区別資質向上研修

会員相互、地区組織の連携強化を図り、ヘルパーとしての資質を向上するために道内の14地区において研修を開催しました。研修内容については次のとおりです。

地区	開催日／開催場所／参加人数	内容
札幌 石狩 後志 空知	平成29年3月4日(土) 北海道自治労会館 72名	○講義・演習「ヘルパーのための口腔ケアとアセスメント」 講師：工藤 由加里（北32条歯科クリニック歯科衛生士） ○講義・討議「ヘルパーに求められる薬の取り扱いと医学的知識について」 講師：河野 裕樹（はるにれ薬局栄通店薬局長）
渡島 檜山	平成28年10月8日(土) 北斗市農業振興センター 64名	○講義・演習「イライラ、もやもやの感情コントロールで相互理解！」 ～アンガーマネジメントで働きやすい職場環境を～ 講師：東 一恵（一般社団法人応用心理ライフマネジメント協会理事）
上川	平成28年10月29日(土) 当麻町農村環境改善センター 37名	○講義「介護職員の為のリハビリとストレスケア」 講師：千葉 恒（富良野協会病院リハビリテーション科主任）
留萌	平成28年10月16日(日) 苫前町役場 8名	○講話「高齢者の口腔ケア」 講師：上田 倫弘 （独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター口腔腫瘍外科医長） ○実技講話「口腔ケアマニュアル～口腔ケアの基本」 講師：田中 琴 （北海道留萌振興局保健環境部保健行政室企画総務課 歯科衛生士） ○講話「咀嚼について」 講師：伊藤 修（苫前町立歯科診療所 歯科医師）
宗谷	平成28年10月1日(土) 浜頓別町保健福祉総合センター 16名	○講義「訪問介護における応急処置とは」 講師：阿部 操（南宗谷消防組合浜頓別支署 警防グループ主査） ○演習「応急処置の実践」 講師：宮谷 重人（南宗谷消防組合浜頓別支署 副支署長） 阿部 操（南宗谷消防組合浜頓別支署 警防グループ主査） 風間 勇人（南宗谷消防組合浜頓別支署 警防グループ）
網走	平成28年11月26日(土) 湧別町保健福祉センター 19名	○講演「お口の健康・体の健康」 講師：及川 順子（北海道歯科衛生士会オホーツク支部口腔機能向上支援委員）
胆振	平成28年5月15日(日) デイサービスセンター泉寿園 30名	○講義『ストレスと上手につき合う方法』 講師：福嶋 美奈子（社会福祉法人愛和福祉会慈徳ハイツ 施設長） ○実技「訪問リハビリの講師に学ぶ、介護の基本と介護技術」 講師：小島 清隆（(有)k&kノータルケア 代表取締役社長）
十勝	平成28年10月15日(土) とかちプラザ 36名	○演習「身近な感染予防と対策」 講師：河瀬 美加子（社会福祉法人博愛会訪問介護事業所 管理者） ○グループワーク「接遇とコミュニケーション」 講師：佐々木 薫 （社会福祉法人刀圭会ヘルパーステーション向日葵 管理者）
釧路 根室	平成28年10月15日(土) 羅臼町老人福祉センター 20名	○講義・実技「紙おむつのあて方とスキンケア」 講師：加藤 裕司（株式会社光洋北海道支店営業課 主任）

平成29年度 **事業** 北海道 ホームヘルプサービス協議会 **計画(案)**

【事業方針】

平成27年4月に介護保険法が改正され、高齢者が住み慣れた地域で生活を営めるよう、介護、医療、介護予防、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取組が進められています。

一方で、ホームヘルプサービスの担い手不足により人材確保が急務となっており、さらには、医療と介護の連携のもと、他職種連携が今後もより強く問われています。

このように、訪問介護を取り巻く環境が変化する中、事業所にとっては、次回の制度改正が重要な岐路となります。

そこで、本会では今後の制度改善への提言に向けて、介護報酬改定後の事業所の経営状況、職員の処遇改善への取組み、課題等を把握し、適切な事業の運営、経営のあり方について検討を行い、今後のホームヘルプサービスが、更なる専門性の高い重要な社会サービスとして確立されるよう、以下の重点目標により事業を推進していきます。

【重点目標】

1. 「介護保険制度の改正に対応したホームヘルプサービスの事業経営の強化」

- ・平成30年度の介護保険制度改正・報酬改定に向けて、ホームヘルプサービス事業が対応すべき課題についての対応強化を図ります。

2. 「ホームヘルプサービスの質向上のための事業の推進」

- ・質の高いサービス提供や専門性の高いホームヘルパー育成及び人材確保の推進のため、啓蒙活動、各種研修活動、研究事業を強化し、内容の充実化を図ります。

3. 「運営基盤の強化に向けたネットワークづくりの促進」

- ・組織運営のための基盤強化に向け会員の拡大を図ります。
- ・地区連絡会議並びに地区別資質向上研修を充実・強化し、地区会員相互のネットワークづくりを促進します。

【具体的事業】

1. サービスの質の確保に向けた研修事業の推進

1) 全道ホームヘルプサービス研究大会の開催

とき／ところ 平成29年7月中旬(2日間)／札幌市

参加対象 ホームヘルプサービス関係者

内容 ホームヘルプサービス事業所の経営の安定化や適正な事業運営及びホームヘルパーの処遇改善のあり方について考えるとともに、ホームヘルプサービスに必要な技術と知識の向上を図るための課題を取り上げ実施する。

2) スキルアップ研修の開催

とき／ところ 平成29年9月～11月(1日間)／札幌市・旭川市(各2回)、釧路市(1回)

参加対象 ホームヘルプサービス従事者(概ね実務経験5年未満のホームヘルパー等)

内容 初任者から中級者レベルのホームヘルパーを対象として、必要な専門知識や技術を学ぶ研修を行う。

3) 上級者ステップアップ研修会の開催

とき／ところ 平成29年12月(1日間)／札幌市

参加対象 ホームヘルプサービス従事者(概ね実務経験5年以上のホームヘルパー等)、管理者等

内容 指導的な立場にあるサービス提供責任者や管理者等を対象として、より専門的な知識や、業務管理に必要なスキルを習得する研修を行う。

4) 地区別資質向上研修の開催支援

実施地区 15地区(14地区及び札幌地区)

参加対象 当該地区の会員・準会員、非会員のホームヘルプサービス従事者

内容 研修の実施や日頃のホームヘルプサービス活動における事例等を共有することにより、地区における事業所相互の連携強化を図りながら、資質向上を図る。

2. 事業経営の安定に向けた事業の推進

1) ホームヘルプサービス事業経営セミナーの開催

とき／ところ 平成30年2月(1日間)／札幌市

参加対象 ホームヘルプサービス事業所長、管理者等

内容 事業所経営に必要な経営分析法や運営管理論等、管理者等に特化した研修を行う。

2) 制度改革に対応した事業経営の検討

①制度推進委員会の開催

本委員会では、実際に事業所において経営や管理などに携わる実務者、学識経験者の視点から、改正介護保険への対応等、現在のホームヘルプサービス事業所における課題について検討し、今後のホームヘルプサービス事業の展開について検討する。

3) 制度対策活動の実施

国、北海道等の関係機関に介護保険制度等の制度対策活動を実施する。

3. 広報情報活動の推進

1) 出前講座の実施

一般住民等にホームヘルプサービスを啓蒙するため、必要に応じて出前講座を実施する。

2) ホームページの運営

ホームページを運営し、事業所、ホームヘルパー向けの情報を充実する。

3) 情報紙の発行(年1回)

本会の研修案内や委員会進捗状況、また制度関連情報を提供する。(会員、準会員へ配布)

4. 会務の運営

1) 代議員総会の開催

とき／ところ 平成29年7月中旬／札幌市

2) 正副会長会議、幹事会の開催(年3回)

・正副会長会議

(第1回) とき／ところ 平成29年7月中旬／札幌市

・幹事会

(第1回) とき／ところ 平成29年7月中旬／札幌市

(第2回) とき／ところ 平成29年8月下旬／札幌市

(第3回) とき／ところ 平成30年2月／札幌市

3) 監事監査の実施

とき／ところ 平成29年6月／札幌市

4) 地区連絡会議の開催

目的: 会員相互の連帯を図るための情報交換、及び各地区の課題解決に向けての意見交換を行う。

参加範囲: 当該地区の会員

開催実施: 15地区(14地区及び札幌地区)

開催方法: 地区資質向上研修との同時開催もしくは、単独開催など、地域実情に応じて開催する。

内容: ①地区内の業務課題について

②地区別資質向上研修事業について

③その他

5) 未加入事業所への周知と加入促進

本会パンフレットを他団体・機関の会議、研修等にて配布し、会の周知と加入促進を図る。

6) 関係機関・団体との連携

①北海道社会福祉協議会との連携

②全国ホームヘルパー協議会、全国社会福祉協議会との連携・全国ホームヘルパー協議会の会費基準の改定に伴う会員の増員

③北海道との連携

④福祉・保健・医療関係団体との連携



北海道ホームヘルプサービス協議会

ホームページの紹介

北海道ホームヘルプサービス協議会では、会員のみなさまへの情報提供を主な目的に、ホームページ (<http://www.do-homehelp.jp/>) を開設しております。本会の研修事業や道内で開催のヘルパーに関係する研修、及び全国ホームヘルプサービス協議会等からの連絡事項、厚生労働省で行われた会議資料やその他諸制度等に関する情報を随時掲載しております。



北海道ホームヘルプサービス協議会

入会のご案内

会員特典

1. 本会が主催する研修会に会員価格で参加できます。
2. 本会が主催する研修会への優先参加・事前告知を行います。
3. 情報誌「笑顔（ほほえみ）」をお届けします。
4. 入会と同時に、全国ホームヘルパー協議会会員となります。

全国組織「全国ホームヘルパー協議会（事務局：全国社会福祉協議会）」にも同時に会員となり、全国ホームヘルパー協議会が主催する研修会への会員価格による参加、全国規模の情報提供や最新情報が得られます。

会員・準会員

- ・ 会 員：ホームヘルプサービス事業所（事業所に所属されるヘルパーは、全て会員の対象）
- ・ 準会員：事業所として加入できないホームヘルパー個人

入会方法

随時受付ておりますので、事務局宛にご連絡ください。「入会申込書」を送付いたしますので、必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてお申度ください。申込が確認されましたら、請求書及び振込用紙を送付させていただきますので、会費の振込をお願いいたします。（※通年度、8月中旬に請求。なお、8月以降の申込については申込確認後、随時請求。）

年会費

- ・ 会 員：20,000円（事業所割）+ 1,000円×常勤換算数（ヘルパー割）
- ・ 準会員：3,000円

※年会費は年度ごとの納入となります。※会員（準会員は除く）に年度の途中に入会した場合、初年度会費を以下のように定めています。

- ①入会月が4月から6月の場合は年会費の全額とする。
- ②入会月が7月から9月の場合は年会費の3/4の額とする。
- ③入会月が10月から12月の場合は年会費の1/2の額とする。
- ④入会月が1月から3月の場合は年会費の1/4の額とする。

※常勤換算数は、当該年度4月1日現在において算出される当該事業所のヘルパー常勤換算数です。

◇ヘルパー常勤換算数＝〔常勤専従職員の人数〕＋〔非常勤・非専従訪問介護員の1ヶ月間の勤務時間合計〕÷〔常勤職員の1ヶ月の通常勤務すべき時間〕（小数点以下第2位切り捨て）

○入会のご案内については、本会ホームページ (<http://www.do-homehelp.jp/>) にも掲載しております。また、ホームページより「入会申込書」をダウンロードできます。

福祉救援活動基金の募金協力の御礼について

全国ホームヘルパー協議会が実施した、平成28年4月発生の熊本地震および今後起こり得る大規模災害の支援活動のための福祉救援活動基金への募金について、北海道ホームヘルプサービス協議会の会員宛に募金の協力依頼を行い、252,865円（振込件数22件他、全道ホームヘルプサービス研究大会での募金）の募金がありました。

さらに全国各地からの募金合計は、1,007,941円となりました。（募集期間：平成28年5月19日～8月31日）皆様のご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

北海道ホームヘルプサービス協議会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1 北海道社会福祉総合センター（かでる2.7）2階

北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課内

Tel 011-241-3977（担当課直通）/ Fax 011-271-3956

<http://www.do-homehelp.jp/>